

学 校 長

2学期が始まり、学校に子どもたちの元気な声もどってきました。日焼けした子どもたちの顔に、楽しかった夏休みが感じられます。子どもたちはどんな夏休みを過ごしたのでしょうか。十人十色の夏休みに思いを馳せるのも楽しいものです。

岡崎小学校の夏休みは、8月20日の育友会主催のサマーフェスティバルから始まりました。暑い日ではありましたが、保護者の皆様のおかげで無事終了することができました。ありがとうございました。また、6年生の出し物「射的&フォトスポット」「おぼときやしき」「マリオカート」も盛況で、下級生を楽しませようとする6年生の姿は、とても頼もしく感じられました。

8月22日23日24日は、個人懇談会でした。1学期の子どもたちの頑張る姿や、夏休みの過ごし方等を、保護者の皆様と共有し、有意義な時間を過ごすことができました。

教職員の夏休みは、1学期の反省や2学期の教材研究、外部の方を招いての学校での研修等を行います。8月20日には、11月27日の和歌山市教科等別研修会に向けて、協力者会を行いました。どうすれば、子どもたちにわかりやすく、心に響く道徳の授業を行えるのかを、他校の先生方と協議し、貴重なご意見をいただきました。

また、子どものいない夏休みを利用し、校務員さんが毎年床の修理を行ってくれます。私も床板の交換の様子を見せてもらいましたが、機械を使って床板を切断し、傷んだ板を良い板に交換していく手際の良さに見入ってしまいました。



8月14日には、「岡崎団七踊り」のお祭りが、西熊野神社で開催されました。「岡崎団七踊り」は和歌山県無形民俗文化財に指定され、岡崎団七踊保存会の皆さんが「岡崎団七踊り」を継承してくださっています。

団七踊りの由来

団七踊りは紀州藩主が江戸へ参勤交代のおり、随行して江戸に下った岡崎の郷土たちが江戸で見聞きした歌舞伎または浄瑠璃「基太平記白石噺」に感動し、これを唄や踊りに変えて郷里の人々に伝えたのが始まりとされています。



「団七踊り」当日には多くの地域の皆様や子どもたちが集まり、「さらし踊り」「なぎなた踊り」「団七踊り」を両者が一緒に踊っていました。踊る皆様の笑顔に、素晴らしい無形文化財を次の世代に継承し続けている、地域の皆様の素晴らしさを感じました。

あっという間の夏休みだったのではないのでしょうか。楽しい夏休みで、パワーを充電した子どもたちと、2学期も頑張っていきたいと思っています。引き続きのご協力、よろしくお願いいたします。